

## 会 議 事 録

1 会議名	令和6年度第1回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和6年7月16日（火） 午後3時から午後5時まで
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター（はまなす） 3階 大研修室
4 出席者名	協議会委員 池浦委員、大浦方委員、川上委員、駒形委員、佐藤委員 品田委員、清水委員、柳下委員、家後委員  委員以外の出席者 近藤寺泊支所長  （事務局＝科学博物館） 金垣参事（科学博物館長）、神保科学博物館長補佐 小熊寺泊水族博物館長、矢引主査、蝶名林技師 田中会計年度任用職員
5 欠席者名	なし
6 議題	報告 （1）正・副委員長の互選について  （2）令和6年度事業実施計画・状況について  （3）水族博物館整備事業の計画（概要）について
7 審議結果の概要	（1）正・副委員長の互選について 委員長に柳下委員、副委員長に大浦方委員が選出された。  （2）令和6年度事業実施計画・状況について 概要を事務局より説明  （3）水族博物館整備事業の計画（概要）について 概要を事務局より説明

8 審議の内容	
事務局	(1) 正・副委員長の互選について これまでの実績を踏まえ、柳下委員を委員長、大浦方委員を副委員長に推薦したい。
一同	異議なし。
事務局	それでは委員長は柳下委員、副委員長は大浦方委員に決定する。
事務局	(2) 令和6年度事業実施計画・状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり
委員	最近、公式 SNS アカウントが地域のイベントをポストしてくれたものを見て、興味が湧きそのイベントへ行った。もっと市の施設などによる引用ポストで寺泊水族博物館を宣伝してくれるといいと思う。寺泊水族博物館のポストを毎回リポストしてくれる方はいるが、例えば他の施設が柏崎での花火に関連付けて寺泊水族博物館を引用リポストで紹介してくれるなどするともっと宣伝効果があると思う。 紙のカードだと忘れてきてしまうことが多かったので、公式アプリによりスマートフォンでスタンプを貯められるようになったのはとても助かっている。
事務局	公式アプリのダウンロード数は、7月15日時点で約800件、先月の新規ダウンロード数は約300件となっている。入館受付の際には公式アプリのPRを行っていた。
委員	館内を観覧するだけでは公式アプリが始まったことに気づきにくい。寺泊水族博物館を訪れる直前に思い出してダウンロードした。
事務局	公式アプリの配信を開始したのは4月下旬であり、夏休みに向けてさらに周知を進めていきたいと考えている。
委員長	テレビで他の水族館が紹介されていたが、裏方探検が特に人気があるとのことだった。希望すれば参加できるのか。

事務局	<p>案内できる職員が少ないため、希望者全てに実施するということができない。若手職員が3年ほどで転職してしまうような事情もあり、現在案内ができる職員は2、3名である。この状態で希望者全てを受け付けるのは難しいため、実施日を決めて申し込みを受け付ける形式をとっている。</p>
委員	<p>子どもが4人おり、子どもたちの思い出作りとして寺泊水族博物館を訪れることが多く、子どもが大人になっても残っていてほしいと思っている。昔訪れたときに食堂があり、とても美味しかったのだが、先日来たときはなくなってしまっていて残念だったため、変わらないでほしいという気持ちが強くなった。</p> <p>子どもたちが長い時間いることのできる水族館にしてほしい。子どもたちが急に「水族館に行きたい」と言ったときにイベントを調べても既に定員ということが多いため、実際に子どもが体験できるイベントを増やしてほしい。</p>
委員	<p>保育園の引率として初めて寺泊水族博物館を訪れたとき、保護者が好きな魚の絵を子どもにプレゼントするという企画を行ったが、その時の園児たちの反応が素晴らしかった。自分にも子供ができて寺泊水族博物館に通うようになり、一番下の子がそれをきっかけに海洋高校への進学を目指すようになったが、ほとんどの中学校の先生から「その進路で本当にいいのか」といった反応であった。</p> <p>長岡市に寺泊という地域があるにも関わらず、中学校の先生が海洋の道を否定する発言がほとんどで疑問に思った。子どもが行きたいと言ってるのに、「海洋の道に進んだら将来はもうない」と先生に言われ、小学校や保育園、幼稚園で寺泊水族博物館を訪れているのに、中学校では急に理解がなくなるのは何なのだろうか。</p>
委員	<p>自分の子どもも言われ、結局行かなかった。</p>
委員	<p>中学生、高校生でそういったことが好きな人はたくさんいるのもったいないと思う。</p> <p>自分の子どもはおかげさまで海洋学校を卒業して海洋学部に入り、現在は魚医を目指して勉強している。寺泊水族博物館のおかげで夢が広がったので、ぜひこの水族館をもっと中学生、高校生などの好きな</p>

委員長	<p>子たちにももっとアピールできたらと思っている。</p> <p>過去には寺泊から北海道大学水産学部へ進学した人もいる。</p>
委員	<p>グッズを制作しているとのことだが、どんなものがいくらで売られているのか。</p>
事務局	<p>クリアファイルが200円で2種類、マグネットが300円で6種類等、全部で15種類ほどのグッズを販売している。</p>
委員	<p>長岡市の商工会議所でポキパスを発行しているが、そこで観覧券とグッズのセットで割引をつける等、オリジナルグッズを利用した工夫ができるかもしれないと思った。</p>
委員	<p>オリジナルグッズについて、観覧していた子どもたちが館内を見終わった後に3階の売店コーナーに行ったら閉まっていた残念そうにしていた。その後1階のオリジナルグッズも見ていたが、小さい子ども向けの商品があれば、平日に3階の売店が営業してなくても子どもがお土産を買えるようになるのではないかと感じた。</p>
事務局	<p>需要があるのはお菓子とぬいぐるみだということは理解しているが、お菓子は賞味期限の問題があり、ぬいぐるみは単価が高くある程度のロット数で注文しなければ単価を抑えられないため二の足を踏んでしまっている状態である。年度ごとに予算が決まっている中で少しずつ在庫を抱えながら回していかなければいけない都合上、文房具がいいと感じている。</p>
委員	<p>公式アプリがリリースされたことで多くの来館者に使ってもらえることになると思うが、寺泊水族博物館のパンフレットが好評で、ホテルなどから寺泊観光協会の方に「寺泊水族博物館のパンフレットを送ってほしい」という連絡が多く来る。特に子どもに人気なようで、必ずと言っていいほど持ち帰っている。そのすべてが寺泊水族博物館に来館するとは限らないが、せつかく手に取ってもらえるほど人気のパンフレットなので、来館に導けるよう活用したい。</p> <p>未利用魚について、各所と連携して「寺泊にはこんな魚もいる」ということを紹介するのはどうか。現在は未利用魚の展示はしていない</p>

事務局	<p>のだろうか。</p> <p>展示していない。</p>
委員	<p>未利用魚とは何なのかと聞かれることがある。骨が硬い、可食部が少ない等で食用に適さないもののほかに、商品として適さない形の悪いもの等他にもいろいろあると漁協の方から伺い、とても勉強になった。こういった情報交換を密にして、あまり日の目を見ないような魚、寺泊にある資源の紹介を協力してやっていきたいと思う。</p>
事務局	<p>未利用魚の紹介について、パネルを設置するということならいつでもできるが、生体の展示となると、小さすぎて未利用魚となったものは展示自体はできるものの、成長していけば利用可能な魚となってしまう。また、大きすぎて未利用魚となったものは展示水槽の大きさが問題になるため難しい。できるとしたらパネル展示と合わせて小さい未利用魚を展示し、成長に合わせてパネル内容を更新していくことになると思う。</p>
委員	<p>SDGsにもつながると思うので、ぜひ検討してほしい。</p>
委員	<p>議題の中で避難訓練をしたという報告があった。東日本大震災により被災したアクアマリンふくしまでは、全国の水族館が協力し、飼育ができなくなった魚を一時保護したといった対応を行った。能登半島地震によるのとじま水族館もそうだが、当時どのように対応したのかといった資料を公式に公開していると思うため、津波が発生したときの避難誘導など含め、寺泊水族博物館としてはどういった対応をとるべきかの参考にするといいと思う。</p> <p>以前、動物園関係者に誘われて、アクアマリンふくしまを訪れたことがある。水族館に板前さんと呼んで、水槽の前で魚と酒を楽しむという会に参加したが、とても楽しかった。このような水族館の利用方法もあると思った。アメリカの水族館では、ブルーガの大型水槽前にある広間でパーティをするという体験にも参加したことがある。今の寺泊水族博物館にそういったものを求めているわけではなく、水族館というものはいろいろな利用の仕方があるということの例として挙げさせてもらった。寺泊水族博物館でできること、未利用魚の存在をどういった形で来館者にアピールするか、あるいは寺泊ならではの個性を</p>

委員長	<p>磨いていくのか、寺泊水族博物館がこれからも残っていくための筋道になるため、その辺も考慮して今後の企画を進めていくといいと思う。</p> <p>関連機関で協力していくことが大切である。</p>
委員	<p>6月始めごろに「ペンギンの赤ちゃんが生まれた」というポストをXで見かけた。その後すぐに寺泊水族博物館を訪れたが、赤ちゃんがどこにいるのかわからなかった。ポストを見ていない人は赤ちゃんの存在をそもそもわからないと思うが、赤ちゃんはどこら辺にいるのだろうか。</p>
事務局	<p>今年度生まれた雛は残念ながら全羽死亡してしまった。ペンギンの雛の主な死亡原因は、親がお腹の下にかくまっている際に、その圧力で圧死してしまうというのがほとんどで、他には経験の少ない親が上手く餌を口渡しできなくて餓死という場合がある。今年はそれらが続いて死亡してしまった。</p>
委員	<p>自分たちの他にもポストを見た人が探していたが、死亡してしまったことはポストや館内標記されているのだろうか。</p>
事務局	<p>SNS等ではそういった情報を発信していない。</p> <p>本来は明るくいいニュースだったが、こういったこともあるので、今後は状態が安定するまでは情報の発信は控える方針とした。今後は十分配慮していきたい。</p>
委員	<p>元のポストも消しておいた方がいいかもしれない。</p> <p>「カエルを探してみよう」というポストについて、答えが分からず、一般ユーザーの引用ポストを見てやっと気づけた。公式アカウントから答えは公表しないのか。</p>
事務局	<p>寺泊水族博物館のキャッチコピーで「海の大冒険」という単語があるので、答えは出さず探し回ってもらうようにしている。</p>
委員	<p>施設について、以前風の強い日に家族で訪れたことがあった。基本的に強風の時は屋外に出るドアは施錠されていると思うが、その日は閉まっておらず、大人の開けたドアが風により勢いよく閉まっていた。</p>

委員	<p>もし子どもがそこに指などを挟んでしまうと大変危険である。ドアチェックがついてはいたが、左側はもうオイルが漏れて壊れてしまっているため、早急に取り換えてほしい。</p> <p>錦鯉の池前の扉が施錠されていなかった。万が一子どもが入り込んでしまい、気づかず施錠してしまうと大変なので、しっかり施錠した方がいい。</p> <p>出入り口の脇に使っていない植木鉢などが置かれていた。人手不足という話があったが、いらぬものは片づけた方がいい。現状は散らかっているように見える。</p> <p>アマモの水槽前のベンチ下に石が放置されている。万が一子どもがそういったものを投げってしまうと危険なので、崩れた石は別の所に片づけた方がいい。</p> <p>立ち入り禁止の扉が半開きになっているところがあった。こういったところは子どもが入る可能性が高いためしっかり閉めた方がいい。</p>
事務局	<p>御指摘いただいた箇所については、早急に対処したい。立ち入り禁止のドアなどは換気のため開いている所もあるため常時完全に閉めることは難しい。小学校の団体予約が入っている時間などは可能な限り対応したいと考えている。</p>
委員長	<p>以前、寺泊水族博物館正面の階段の手すりが熱いという話も出ていたかと思う。</p> <p>長岡観光コンベンション協会との協力はあるのか。</p>
委員	<p>寺泊水族博物館公式アプリはどういった方法で宣伝しているのか。長岡観光コンベンション協会では会員企業や団体が約300社ほどあるため、そちらに宣伝することで会社を通じて社員へ周知し、大人経由で情報発信ができる。これまでの話を聞いていた様子では、いろいろと相談の余地があると思った。</p>
事務局	<p>(3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について （資料により説明） 主な意見は次のとおり。</p>
委員長	<p>海水を組み上げている場所は以前から変わってないか。</p>

事務局	<p>変わっていない。</p>
委員長	<p>新しい寺泊水族博物館の位置について、寺泊中央海浜公園へ動かす案があったと思うが、その場合どこから海水を組み上げることを想定しているのか。</p>
事務局	<p>その場合は港からの組み上げを想定している。 以前施工業者から話を聞いた限りでは可能とのことだった。</p>
委員長	<p>大河津分水から流れ出る水によって、寺泊水族博物館で塩分濃度に影響が出ると思うが、そういった場合はどのように対応しているのだろうか。</p>
事務局	<p>飼育職員が塩を投入することによって調整している。</p>
事務局	<p>塩分濃度については飼育職員も気にしており、春先にもあったが、夜間に状況に応じて塩を投入するといった対処を行っていた。ただ、大河津分水からの出水が主な原因ではなく、季節風の影響で春先にそういった現象が起こることである。</p>
委員	<p>今回の協議会でも多くの意見が出た。おそらく寺泊水族博物館では我々が想像しているよりも少ない人員で仕事を回しているのだろうなと思っている。次回協議会の際は、見える化の一つとして、寺泊水族博物館を運営するにあたって、職員がどのような分担で作業を行っているのか、外部に委託している業務は何かといった組織図のようなものを資料として配付してもらえれば、我々としてもそれをイメージしながら話ができると思う。</p> <p>今日も寺泊水族博物館を観覧してきたが、2階を中心に授乳室の設置等を含めたリニューアルが進んでおり、整備中の水槽も多くあった。そこに手書きで「ただいま飼育員が一生懸命採集中。もう少し待っててね」という言葉と女の子の絵が描いてあった。ただ整備中だけでは「せっかく来たけど整備中で見れなくて残念だったね」となるのを、こういった心配り、心配りでちょっとしたメッセージを残してもらおうと「一生懸命やってるんだ。また来た時見ようね」となり、親子の会話のきっかけにもなると思うので、そういったところは職員が少</p>



	<p>ない人数で頑張っているところの一端だと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
9 会議資料	別添のとおり